

この4年間で集約した署名 **11万3657筆!**

2018年、大阪障害児教育運動連絡会は、府立支援学校の「過大・過密」による「教室転用」や、数合わせの「通学区域割の変更」、定員を超える「つめこみ」教室など、人権侵害ともいえる劣悪な学習環境の改善を求めて、府立支援学校の増設を求める請願署名のとりくみをはじめました。

この4年間で11万3657筆の請願署名を府議会に届けました。

文科省「教室不足調査」

全国ワースト!

2022年3月に文部科学省が公表した全国の公立特別支援学校の不足教室は3740教室、大阪は全国ワーストの528教室です。

「教室足りない」(5/21 読売新聞)

「詰め込み深刻」(6/6 朝日新聞)

「4割でクラス人数基準超え」(6/14 NHK)

など、マスコミ各社が報じています。



6人定員の教室に12人がつめこまれていてる学校もあります。

最低限の基準を満たしていない!!

2021年9月、父母・関係者の長年の運動によって「設置基準」(特別支援学校を設置するために必要な最低限度の基準)が制定されました。府立支援学校の半数以上の学校が設置基準を満たしていません。



大障教ホームページからこれまでの支援学校増設運動の資料やリーフ、署名用紙をダウンロードできます。

府内各地域に
知的障がい支援学校の新校整備が必要です

子どもたちの 笑顔あふれる学校を!



障がいのある
子どもたちの笑顔が
あふれるのびのび
たのしい学校を
もっとつくらせてください。

長谷川義典

大阪障害児教育運動連絡会

大阪の障害児教育をよくする会 大阪府立障害児学校教職員組合 大阪障害児・者を守る会
大阪教職員組合障害児教育部 障害者(児)を守る全大阪連絡協議会 全国障害者問題研究会大阪支部
【連絡先】大阪市天王寺区東高津町7-11-704 Tel: 06-6765-8904
大阪府立障害児学校教職員組合内 大阪の障害児教育をよくする会事務局

「府内各地域に知的障がい支援学校の新校整備を
求める請願」署名にご協力ください。

障がいのある子どもたちに当たり前の教育を！

「過大・過密」「教室不足」「長時間通学」解消に向けて支援学校を抜本的に整備してください

増えつづける児童生徒数

(府立支援学校で学ぶ知的障がい児童生徒数)



支援学校に通う子どもはなぜ増えているの？

より手厚く、専門的な教育をねがう保護者の要求の高まりと、競争的な通常教育の困難さが増加していることが指摘されています。

今後も増加するの？

府教委は2017年度から2026年度の10年間に約1590人増加する見込みを示しています。

わたしたちのねがい

●自宅から40分以内で通える学校



地元の学校に通えず、1時間以上かけて通う子もいます。適正に整備され、自宅から40分以内で通える学校を。

●小学部・中学部・高等部がある一貫した教育が受けられる学校



府内各地域に適正に学校があれば、12年間の一貫した教育を受けられるようになります。

●適正規模150人~200人の学校

適正規模の学校なら特別教室をつぶさず、ゆとりをもって勉強ができます。



支援学校の適正規模は150人~200人

大阪府学校教育審議会(1992年12月)は知的障がい支援学校の適正規模を150人~200人とする答申を出しています。

大阪の支援学校は「過大・過密」がすみ、適正規模を超える学校が20校、その内300人以上の学校が13校、400人を超える学校が3校あります。



間仕切り教室での授業は、となりの音が気になって集中できません。



教材庫や準備室などで授業する学校も。防災上の安全面も懸念されます。

地域に根ざした適正規模の学校を適正に配置するためには**最低15校は必要です。**

さらに今後の児童生徒数の増加に対応する新校整備も必要です。